第3回 平成27年9月6日～10月25日

かかしコンテスト

「かかしたち」の力

県の里まちづくり推進協議会　会長　岡田章文

「かかし」は、田舎の原風景の一つです。田や畑などの中に設置して、害を及ぼす鳥獣を近づかせないために「人間がいる」ように見せかけることで、その役割を果たして来ました。最近では、鳥獣の学習能力に対抗して、大きな目玉を書いた風船や銀色に輝くテープ、中にはＣＤをぶら下げて知恵比べをしているところも見かけます。しかし、ほとんどの農家では、「かかし」の設置などが行われなくなりました。

かかしコンテストの開催は、このような中で衰退していく「農業について考える。」ことを目的に開催しています。当初は、出展していただいた方や「かかしたち」を見に来ていただいた方から作品の評価や農業についてのコメントをいただき、その効果に自己満足していました。

３回目となった今回は、「農業について考える」こと以外の効果に気づきました。高齢の方が入所されている施設との接点が増え、出展も数多くなったことです。それは高齢の方と職員の皆さんが一緒に「かかし」を制作したり、皆さんが団体で来観したりして居られるのを見て、この催しが昔を思い出しながらの制作や職員の皆さんとの共同作業の中で、何かのお役に立っているのではないかということです。

以前、知り合いの方の高齢となったお母さんが、生活の中で笑顔がなかったところ、コンテスト会場を訪れた時、ご自身の記憶が蘇ったのか笑顔が戻ってきたと喜んで下さり、電話をいただいたこともあります。

かかしコンテストの開催が思わぬところで、思わぬ効果を生んでいるように思います。

今回も、多くの方のご協力で開催できましたことに心から感謝し、お礼を申し上げます。

これから先、回を重ねていくに従ってマンネリ化していくことも考えられますが、少しずつ工夫を凝らして続けていきたいと考えています。皆様の更なるご協力をお願いいたします。

第3回かかしコンテストを振り返って

うつくしい里部会長　蔵本久美

３回目を迎えた今回のかかしコンテストは、テーマに沿って楽しいもの、考えさせられるもの、癒されるもの、２体３体と組み合わされて物語のあるもの等、一段とレベルアップした作品が集まりました。介護施設からの出品も多数あり、なかには職員さんが今年の出品は無理かなと思っていたら、入居者の方から「今年も作ろう！」という声があり参加したというところもありました。

地元のサロン以外に、他地区のサロンの参加もあり、「制作中にみんなが団結し協力してこれが本当のサロンのあり方だと感じた！来年もぜひ参加したい。」という声も頂きました。

車を何台も連ねたり、タクシーや車一杯に乗ったりして、見学に来てくださり、かかしと一緒に満面の笑顔で写真撮影をされている姿を見ると、ずっと続けていきたいと思いました。

審査は例年通り、市長さんをはじめ地域の各種団体の代表の方々にお願いしました。力作ぞろいに頭を痛めておられたようです。昨年より始めた一般投票にも多くの参加がありました。

会場に設置した一言ノートには「毎年来てます。来年も楽しみにしています」「毎年続けてください」「県主の皆様に元気をもらいました」と、うれしい言葉が書かれていました。

９月６日～ 10 月 25 日の間、みんなを楽しませてくれたかかし達も任務を終えた後、作者のもとに帰って行ったり、他にもらわれて行ったり、今も各場所で活躍していることでしょう。

賞品として頂いたお米で、カレーを振舞う会やおにぎりパーティーをして楽しんだという便りも届いています。開催までには色々と大変なこともありますが、皆様の喜んでくださる顔や声を励みに今後も続けていきたいと思います。

たくさんの方々のお力添え本当にありがとうございました。

かかしは、古くは髪の毛や魚の頭などを焼き、串にさして田畑に立てたものであった。悪臭で鳥や獣を追いはらっていたことから、これを「嗅がし（かがし）」と呼び、清音化されて「かかし」となった。ただし、竹や藁で作った人形が使われるようになってからも、しばらくは「かがし」が用いられており、「かかし」という清音形は近世以降に関東地方から始まり、江戸時代後半に関西地方でも「かかし」が使われるようになった。
漢字の「案山子」は、元々中国の僧侶が用いた言葉で、「案山」は山の中でも平らなところを意味し、「子」は人や人形のことである。中国宋代の禅書『景徳伝灯録』に「僧日、不会、師日、面前案山子、也不会」とあり、これにならって「かかし」の当て字に「案山子」が用いられるようになったと考えられる。　語源由来辞典より

ガンバル 地域の第３回「かかしコンテスト」開催要項

１　主　　催　県の里まちづくり推進協議会　（うつくしい里部会・みのりの里部会）
２　後　　援　県主公民館
３　テ ー マ　―農業―
４　趣　　旨　「かかし」は、昔懐かしい「ふるさと」を思い起こさせます。そして、心を癒す「ふるさと」の原風景があります。
農業を取り巻く環境は、県主地区に限らず、農業を守り続けてきた先人の苦労の上に成り立っており、今を生きる私たちは先人が守ってきた農業を後世に伝えていく義務があります。しかし、近年は大きく変貌した経済活動の影響で、農業は衰退の一途をたどっています。今、私たちにできることは何でしょうか。地域の皆さんが「知恵と」と「アイデア」を結集して、これまで以上の努力をしていかなければならないものと考えます。この事業は、「かかし」づくりをとおして大人はもちろんのこと、次代を担う子どもたちとともに地域の農業の将来を考え、取り組みの中で人々の交流を図ることを主眼とします。

５　製作基準　・コンテストの趣旨に沿った製作内容とし、公序良俗に反するものでないこと。
・形状は横２ｍ・縦２ｍ・奥行２ｍ以内、重量２０ｋ以内とすること。
・「ふるさとかかし」の製作基準によるものでないこと。
＊ふるさとかかしとは…現在県主地区内に常設展示されているもの、詳しくはお問い合わせください。
・マネキンの頭部や手足・胴体を使用しないものであること。
・作品は、一定期間露天に展示するため、相応の材質を考慮すること。
・作品に付属する材料使用は可能とする。（くわ、鎌、帽子など）

６　審　　査　審査員による審査結果により賞を決定し１０月１８日かかしに掲示します。

７　審査基準　審査員は、次の基準によって公平に審査を行うこと。
・製作基準に抵触しないものであること。
・コンテストの趣旨にどれだけ近い作品であるか
・製作方法。
・見る者にアピールする作品になっているか

８　表　　彰　審査結果に基づき、平成２７年１０
で表彰します。（入賞作品は、審査

９　賞　　品　最優秀賞　１本　（県の里産新米・玄
優 秀 賞　２本　（県の里産新米・玄
特 別 賞　１本　（県の里産新米・玄
佳　　作　５本　（県の里産新米・白
参 加 賞　　（県の里産新米・白
子どもの部　５本（トロフィー及び賞
※　賞品は「かかし祭り」会場で進呈

10　作品の持ち込み　平成２７年９月５日（土）午後
６日（日）午前
県主公民館分室へ持参すること。作品
入し、同時に提出すること。（コメン

11　作品の返却　平成２７年１０月２５日（日）か
ること。

12　連 絡 先　蔵本　090-8713-2089　岡田　0

第2回かかしコンテスト応募作品の優秀賞をベースにポスターを制作しました。

1 小田川荘 （芳井）

2 折口サロン隣組（大江）

3 井原こどもサロン（井原）

4 県主小学校

5 蔵本直樹さん

6 青野いきいきサロン たんぽぽの会（青野）

7 渡辺晃成さん（出部）

8 赤城友治さん（笠岡）

9 赤城直佳さん（笠岡）

10 ラスパみずき（笹賀）

11 偕楽園 （上出部）

12 岡田章文さん

13 杉本　愛さん（木之子）

14 ケアハウス 四季が丘 （上出部）

15 サンキウエルビ グループホーム井原（西江原）

16 吉仲恭子さん

17 サントピア（上出部）

18 ドルフィン岩倉（岩倉）

19 ケアハウスきのこセイモン

20 西田豊治さん（西江原）

出展者の思い

1【ゴールド免許】若いころは見向きもしなかったけれど年を取ると、これがなくちゃ。今日は採れた野菜を入れて家まで運びます。疲れたら座れるしね。「わたしゃ押し車のゴールド免許よ!」息子よりも役に立つわ!

2【農業の未来を勉強しています!】第2回に参加した「松と米」の息子「金次郎」です。おとうさん・おかあさんの後を継いで、頑張っています…『農業後継者』として、現在特訓中です!みなさん…金次郎をよろしくお願いします!

3【かかしミリオン】目からでるキラキラビームでお米を食べる鳥を追い払うぞ～暑い日や雨の日も菅笠があるから大丈夫!

4【すぽっち・ぱくどん・ぐっすりんだぁ～～いすき】
いばらっ子は、すぽっち・ぱくどん・ぐっすりんとの約束を守る子が多いんだよ。元気に遊び、バランスばっちり楽しく食べて、しっかり寝て、元気に大きくなるよ。県主のおいしいお米をぱくぱく食べるために、すぽっち・ぱくどん・ぐっすりんのかかしたちが、お米を守るよ～～ん。みんな応援してね。

5【ひょんこ】「今年も豊年万作で～村は総出の大まつりどんどんひゃららどんひゃらら～夜までにぎわう宮の杜」と村祭りも間近か。五穀豊穣を願い豊作に感謝するおまつりの「ひょんこ」です。今年はかかしコンテストにも参加して「すずめやカラス、有害動物を追い払うぞ」

6【桃太郎、すずめを退治に県主へ】昨年サロンでかかしを見学し、来年は出品（参加）しようと言うことになり、あぁしよう、こうしよう、県主の米、青野のぶどう、いろいろ意見が出て楽しくみんなでできました。
いきいきサロンたんぽぽの会

7【ぼくはおいしいよ!たわらくんです】大きな目に、大きな口、おいしいおいしいお米です。お腹にまいてあるのは「のり」だよ。み～んなで、いっぱいお米を食べようね。大きな口をあけてガブリ!元気におおきくなりましょう。

8【農ボーイ】子どものころから農業の勉強

9【今の自分…!】ビールのために仕事する!!（笑）

10【キミならできる!】もう少ししたら稲刈りの時期だからテニスラケットをカマにかえて県主の手伝いにきたよ!

11【男かかし 2015】偕楽園のおじいちゃんが作りました。職員は作成には一切手を貸していません。かかし作りの経験者はいませんが、『どうせ作るなら世界に一つだけのものを作ろう』と一生懸命作りました。作成期間は1か月間で雨にも台風にも負けず、9月になってようやく完成することができました。かかしに使用している服や物は、すべて自分たちの持寄りです。骨組みは竹と稲わら、顔は紙粘土、目玉は黒大豆を使用と隅々までこだわり抜いた男かかしを、ぜひご覧ください。

12【農業者人口の減少・耕作放棄地の増大!】数年前まで、大谷山などでは「さつまいも」の生産がされていましたが、「今は山」!芋焼酎「里の夢」は「さつまいも」の生産農家が増えればとの思いで皆で頑張っています。

13【妖怪おにぎりファミリー】え～っとあれは「妖怪おにぎりファミリー!」妖怪不祥事案件でいうところの、「ヤッター!!今日はおにぎりだー!!おかーさーん梅干しどこー?おにぎりには梅干しだよね」を引き起こす妖怪でういっす♪

14【だーす米（べい）だぁ～】西暦 2015 年9月ここ県主の田んぼに一人の戦士が居た。かつて銀河を支配しようと活躍していた男 10 年前 息子にその野望を阻止されてから力をためていた その合間に手を付けた農業 ハマッてしまい稲作にも手を出していた!その名は…『だ～す米（べい）だぁ～!』

15【かわいらしいお孫さん（花子ちゃん）】初めてのかかし作り、かわいらしいお孫さんを作成することにしました。施設にあるもので最初に体作りを何でしようかと入居者皆さんと考え作成しました。皆様「あれが良いよ」「これが良いよ」とワイワイ言われながら仕上げました。

16【あと なんぼう ねたら のんでええ?】ええとこじゃ～（ええとこじゃ）県主はええとこじゃ～　満点じゃ～（満点じゃ）おいしいお芋もとれるんじゃ～　20 才になったなら　フルーティーな芋焼酎「里の夢」県主産のさつまいもから生まれたんよ。みんなで育ててね!
一致団結　脱少子化　がんばれ　県主

17【農家の嫁に来てがんばるぞ!】利用者様と一緒に作りました。米がおいしそうにたけました。かわいい男の子はサントピアのみんなが大好きです。
デイサービスセンター・サントピア

18【ハッピー親子かぼちゃ!】今年はかぼちゃに挑戦しました。利用者様も一緒に手伝ってくださり、みんなで作りました。かぼちゃの親子のようにみんなが幸せになりますように…という思いで作っています。そしてたくさんのお米が実りますように親子で見守ります。

19【収穫の秋!】今年の芋は大きいぞお♪

20【農業の将来を“考える人”今を考える子】農は食の元食は命の元　どうなる日本の農業　若い人の農業離れ・小子高齢化による担い手不足・これからの農業どうなる?と考える人（親）
とうちゃん、おなかすいた!おいしいおにぎり食べたい。ボクとうちゃんみたいに、おいしいお米つくるヨ!（子）

21 多田康生さん（大江）

22 多田　光さん（大江）

23 吉田しおりさん（大江）

24 吉田　誠さん（大江）

25 大塚静流さん（大江）

26 宮原裕介さん（大江）

27 入江　凛さん（大江）

28 山本琴音さん

29 森本舞香さん

30 森谷りおさん

31 広田ゆうきさん

32 上村りなさん

33 上村あいなさん

34 福島まあさん

35 岡田志歩さん

36 蔵本祐二さん

37 鳥越夢純さん

38 種川ほのかさん

39 ほそかわひろきさん

40 岡田ななみさん

出展者の思い

21【キャプテン　ジャック　スパロウ】
『外敵から守るために、わざわざ海から田畑に来てやったぜ！オレの名前はキャプテン　ジャック　スパロウだ！！』…って言ってたよ。

22【ゴムゴムの～コメとる～！】
食べることが大好きなルフィーを作りました。おいしいお米がたくさんできるといいな。

23【なつまつり】
ゆかたをきせるので、なつまつりにしました　かわいいでしょ～！

24【こう見えても、医者です】
こわい顔ですが…やさしい医者です。

25【わたしたちは、井原のお米のために生まれてきたよ】
おいしいお米ができるよう、がんばりました。かかし作りは、とてもむずかしかったけど、色々工夫できてよかったです。このかかしが役にたつといいです。

26【父さん】
父さんが、畑や田んぼに来る　カラスや　わるい虫をおいはらうすがたを　思いながら作りました。

27【おうちのおこめがやっぱり1ばん！】
わたしはおこめがだいすきです。とくにおばあちゃんからもらったおこめがおいしくてだいすきです。おみせでたべるおこめもおいしいけど　いえでたいたおこめだといくらでもたべられます。おばあちゃんにもらったおこめを　いっぱいたべて　どんどんおおきくなりたいです。

28【おんなのこ】
すずめをよせたくない。おいしいおこめをたべたいです。

29【くま】
おいしいおこめをありがとうございます。もっとおこめをたべたいからすずめをこないようにしたいです。くまがおいはらいます。

30【くまちゃん】
おこめがおいしくできてほしいです。むかでがこないようにしてほしいです。

31【ドラエモン】
ドラエモンをつくるのにすごくくろうした。ドラエモンでからすをこなくするのがいいなと思いました。そしておいしいお米をたべたいです。

32【ねこ】
田んぼのいねが大きくそだつようにつくりました。

33【スカートをはいたおんなの子】
わたしは、田んぼのスズメをおいはらってほしいです。

34【かわいいくまちゃん】
田んぼでカラスをおいはらってほしいです。お米がおいしくなればいいです。スズメやサギのしわざでわるくまずくならないように。ヒルがいなくなればいいです。

35【猫の手かします！】
猫の手かすのでがんばってください。おいしいお米ありがとう！ねこがすずめを食べちゃうぞー！もっとお米をたべたいです。

36【コーヒーかめん】
田にすずめ、虫をよせないようにしてほしい。おいしいお米をつくってほしい。

37【うさぎ】
カラスがこないようにしてほしいです。おいしいお米ができてほしいです。かかしのうさぎでびっくりしてからすがにげてほしいです。

38【うさぎ】
田んぼや畑などを守っておいしいお米を作ってね。

39【じばにゃん】
おいしいおこめができるといいにゃん。

40【どらえもん】
たんぼやはたけをまもってね

41 大谷いきいきサロン

42 生駒千尋さん

43 藤井乙葉さん

44 広田文子さん

45 原田茂子さん（笠岡）

46 水谷ここなさん（出部）

47 岡田志歩さん

48 藤原かえでさん

49 井上はるなさん

50 井上あかりさん

51 とりごえここなさん

52 藤井しゅんすけさん

53 木之子保育園（木之子）

54 岡崎知佐子さん（高屋）

55 北川こうしろうさん

56 蔵本哲治さん

57 石部恵美さん（下稲木）

58 廣澤こうしさん（木之子）

59 廣澤はるかさん（木之子）

60 廣澤あさひさん（木之子）

出展者の思い

41【おとうちゃん　おかあちゃん　こーんなにとれたよー】
いきいきサロンではじめてかかし作りに挑戦してみました。皆んなかかし作りは初めてで、あーでもないこーでもないと知恵を出し合いながらガンバりました！

42【かかしの女の子】
おいしいお米を守るぞ！

43【女の子のくまちゃん】
すずめやカラスなどが、こないようにしてほしいです。今年初めてくまちゃんを作りました。去年は女の子を作りました。やっぱりくまちゃんのほうが作りのがたいへんでした。私のくまちゃんですずめをおいはらってほしいな～。

44【連れのうで…】
あんた今日は月曜日じゃなぁ～！公民館の分室でしょうるホットカフェへ行こうやぁ～へえでもこが～な格好で…人が笑わぁ～！大勢いきゃあ喜んでで～へえなら行こうか！他の人もさそうてみゆうやぁ～行こう・行こう！

45【お手伝いします！】
今年は猫熊など仲間がいるよ！みんなで美味しいお米作りのため　お手伝いします！

46【かわいいおんなのこ】
はじめてかかしをつくりました。かおをつくるのがむずかしかったです。おいしいおこめになあれ。

47【キキ】
おいしいお米をすずめなんかにやるもんか！かかしですずめをおいはらえ！

48【おんなのこ】
たんぼやはたけにとりがこないようにしてほしいです。

49【はんなちゃん】
お米を上手に食べてほしい。

50【ふつうな女の子】
お米をおいしく食べたいのでかかしを作りました。すずめさんこないでね。

51【おんなのこ】
すずめをよせつけたくないです。いつもおいしいおこめをありがとうございます。

52【おとこのこ】
おいしいおこめをたべたいです。

53【さくらちゃん】
紙芝居「もりのおかしや　たぬきどう」を喜んで見ている子どもたち　お話しの中で出てくるかかしを見て「みんなで作りたい」ということになり材料をみんなで探してかかしを作り“たかしくん”と命名して、夏の間園の野菜を見守ってくれて、たくさんの野菜を収穫しました。「“たかしくん”だけではさみしい」「お友達がいる」ということになり「“たかしくん”より大きな女の子を作ろう」ということで一生懸命みんなで作り“さくらちゃん”と命名しました。“たかしくん”は園でお仕事中なので今回は“さくらちゃん”だけの参加になりますが　ぜひ見てください。
きのこ保育園ぞうさん（3歳児）より

54【もったいないばあさん】
もったいない　もったいない。こめつぶ残すのはもったいない。スズメに食わすのはもったいない。みんな残さずご飯を食べましょう。ひとつぶ残さずたべなせ～。

55【のび太くん】
おいしいお米ができますように！

56【Duream of AGATANUSHI】
焼酎をたくさん飲んでくださいね！

57【となり町応援団】
お互いに緑豊かなふるさとを守るため、知恵を出し合いみんなが一致して頑張ろうね。私らも時には「よさこい」を］思いきり踊ってストレスを発散しながら、町の活性化を考えようと思っとるよ～

58【ドラえもん】
ぼくが　いねを　まもるぞ！　まかせとけー！

59【どらみちゃん】
すずめをおいはらうぞ。

60【どらみちゃん】
すずめにおこめをやらないぞ！

61 佐藤和代さん（芳井）

62 北川乃梨子さん

63 森下美佐恵さん

64 蔵本友紀さん

65 三宅彩仁さん（福山）

出展者の思い

61【休憩（キュウケーイ）】
ゆっくりと休憩したい人あつまれ～。ほっと一息しましょう。

62【女の子】
おいしいお米が出来ますように。すずめがきませんように。おまえにやる米は1つぶもない。ほしかったらとってみろ。

63【とりあえず80才までガンバルでー!】
あれから36年　なんだかんだで　ともに　60 才を迎え　できれば　70 才　80 才と健康で農作業を続けられたらえ～なぁ～　と思うんよ。たまには思い切り　バイク　乗りてぇー

64【太陽 sun】
sun sun sun 太陽サン　たっぷり陽ざしを浴びておいしい　お米にな～れ!

65【ぬりかべ～】
妖怪は色々なものの守り神!すずめや害虫、災害から「県主」いやいや「井原」を守ります。ええとこじゃ～ええとこじゃ～井原はええとこじゃ～♪♪

ひと言コメント

～コンテスト期間中 会場へおいでいただいた皆様のひと言～

○友だち 3 人と見に来ました。昨年も見学に来ましたが、とても楽しみに来ました。どれもこれもすごくいい出来栄えです。ビックリしました。リアルですね!
青野町より
○昨年のアンケートでコスモスがあったらいいなあ～と書いたら、今年は周りに植えてあり感激しました。私1人の意見じゃないと思いますがなんだか嬉しいです。稲がメインなのにと書いた後に心配もしたんですが、咲くのが楽しみです。又来ます。
○第 3 回かかしコンテストの開催おめでとうございます。回を重ねるごとにだんだんとテーマに添った楽しい、考えさせられるかかし達が増えましたネ!
楽しく拝見させていただきました。　大江町より
○毎年すばらしい出来です。県主が素晴らしい町になりますように願っています。頑張れ!!　神辺町より
○大江から来ました。すばらしい作品ばかりで壮観!です。コンテストの結果が楽しみです。
○孫を連れて岡山からやってきました。どれも皆よく出来ていて楽しいし、おもしろいし充実した時間でした。
○岡山から参りました。素晴らしい実りの稲に囲まれて沢山のかかしが微笑ましく、皆さんの力作に感動いたしました。町に住んでいると見ることが出来ない風景です。これからもコンテスト続けてください。
○去年も来ましたが、今年は3歳の孫と3人でかかしを見に来ました。楽しい催しです。孫も大喜びでドラえもんと手をつないだり、おしゃべりしながら回りました。将来は酒飲みかな?61番がお気に入りのようです。来年も見に来ます。　Y より
○子供を連れて初めて見に来ました。どのかかしもよく出来ていて感心しました。毎年見に来たいと思いますので頑張ってください。
○今年初めて来たけれど、とっても笑顔になれました。いつまでも続いてくれるとうれしいです。
○コメントが楽しいですね。思いが伝わりました。
○孫と今年も来ました。かかしにいっぱい話しかけていました。続けてください。楽しみです。
○ふ、ふ、ふと笑えるおばあさん達の会話コメントが楽しかったです。　岡山　西大寺より
○面白かったです。作っている姿を想像して楽しめました。続けてください。来年も必ず来ます。　広島県より
○嫁入らず観音で教えてもらってきました。楽しませていただいていたら、作者の人が、いとおしそうに手直しをされていました。いっそう楽しませていただきました。
○かかしの頭にすずめがとまり豊作ですよと笑ってる　井原町より
○はじめて見学に来ました。力作ぞろいに感動しました。町内に設置されているかかしにも驚きました。田園の中にコスモス、かかし素晴らしいです。
○市民体育祭の合間に見学させていただきました。どの作品も作者の思いが込められていて素晴らしいものばかりです。このたびは、かかしづくりに初の参加で初めての取り組みをされた某施設で頑張っておられる方に投票しました。いつまでもお元気で多くの人を楽しませる作品を作ってください。今日も健康に感謝して自分の使命に邁進しましょう!　K・Y
○高梁市から来たで!去年も来たけど良かったで!子どもの作品も多く参加者が多いのがよい!　来年もまた来るのでユニークな作品を見せてください。
○毎回楽しく拝見させていただいております。今年は子どもさんたちの作品も多く私の子どももよろこんでいました。かかし祭りにも時間の都合がつけば遊びに来たいと思います。
「里の夢」芋焼酎頂きました。フルーティーで飲みやすかったです。大阪の友にも先日送ってあげました。色々な町おこしの活動頑張ってください。
○市内ですが自転車でやってきました。力作ばかりです。フォトコンテストに出したいと思います。趣味で写真をやってます。青空をバックにかかしを撮影させてください。今日は下見です。又来ます。　H より
○寄島町から夫婦で来ました。みなさんも力作に感動しました。色々と工夫されていてりっぱです。来年も見に来させてもらおうと思います。ありがとうございました。
○第1回目から来ています。毎年娘と自転車で来るのが恒例となっていて楽しみです。これからもかかしコンテストが開催されるのを期待しています。来年は参加してみたいです。

※まだまだ沢山のコメントを頂いておりますが、同文等紙面上の都合により抜粋させていただいております。

2015年 第2回 かかし祭り

「かかしたち」はどれも力作ばかりで、審査に苦労したと聞き、審査員の皆様にはお手数をおかけしたなと感じております。ありがとうございました。
　出展していただいた児童クラブの子どもたちや一般で出展していただいた方々、展示会場・駐車場を快く貸していただいた地主の方、審査員の方々、周辺の耕作者の方々、更に終始協力をしていただいた多くの皆さんの思いの中で、無事「かかしコンテスト」を終了することができて、今は感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

県の里まちづくり推進協議会　　かかしコンテスト事務局　岡山県井原市門田町７１４　問い合わせ先：電話 0866-62-7812
かかしコンテスト運営／うつくしい里部会・みのりの里部会　　発行・編集／広報委員会